



Admin UI を使用したサーバのモニタリング

この章では、プライム ケーブル プロビジョニング 展開の RDU および DPE サーバのパフォーマンスをモニタする方法について説明します。これらのサーバは、中央 RDU サーバおよび DPE サーバです。

次からサーバの統計情報を確認することができます。

- [Admin UI を使用したサーバのモニタリング \(1 ページ\)](#)

Admin UI を使用したサーバのモニタリング

この章では、プライム ケーブル プロビジョニング 展開の RDU および DPE サーバのパフォーマンスをモニタする方法について説明します。これらのサーバは、中央 RDU サーバおよび DPE サーバです。

次からサーバの統計情報を確認することができます。

Admin UI の使用

Admin UI で使用可能なサーバ統計を表示するには？

1. [Server] をクリックします。

オプションの取得：デバイス プロビジョニング エンジン、Network Registrar DHCP、プロビジョニング グループ、地域の配信ユニット。

2. 次のように操作します。

- 現在プライム ケーブル プロビジョニングで登録されているすべての DPE をモニタするデバイス プロビジョニング。
- RDU に登録されているすべての Network Registrar 拡張ポイントすべてをモニタする Network Registrar DHCP。
- 現在のすべてのプロビジョニング グループをモニタするプロビジョニング グループ。
- 地域配信ユニット (RDU) ステータスおよび統計情報を表示する地域配信ユニット。

このセクションでは、プライム ケーブル プロビジョニング サーバ ページを説明しています。

- [Monitoring RDU](#)
- [プロビジョニング グループのモニタリング](#)
- [DPE のモニタリング](#)
- [CPNR 拡張ポイントのモニタリング](#)

Monitoring RDU

RDU オプションでは、サーバメニュー ([Servers (サーバ)] > [Regional Distribution Unit (地域配信ユニット)]) から次の表の説明に従って RDU の詳細が表示されます。

表 1: 地域配信ユニットの詳細の表示ページ

フィールドまたはボタン	説明
地域配信ユニットの詳細	
ホスト名	RDU を実行しているシステムのホスト名を特定します。
ポート	DPE から接続のための RDU リスニング ポート番号を特定します。デフォルト ポート番号は 49187 ですが、RDU インストール時にさまざまなポート番号を選択することができます。
SSL Port	セキュア ソケット レイヤ (SSL) 通信に使用されるポート番号を識別します。
セキュア通信	RDU および他のサーバ間の通信が、暗号化と復号化のため共有秘密鍵を使用している場合特定します。
非セキュア通信	RDU および他のサーバ間の通信が、暗号化と復号化のため共有秘密鍵を使用している場合特定します。
IP アドレス	RDU に割り当てられた IP アドレスを特定します。
プロパティ	RDU 用に設定されたプロパティを特定します。
バージョン	現在使用中の RDU ソフトウェアのバージョンを指定します。
UpTime	ダウンタイムの最後の時間から、RDU が動作する合計時間を指定します。

フィールドまたはボタン	説明
状態	RDU が要求に応答する準備ができているかどうかを特定します。管理者ユーザー インターフェイスに表示されている唯一の状態は、Ready です。
PACE 統計	
バッチ処理	最後の RDU が起動してから、処理された各バッチ数を特定します。
成功したバッチ	最後の RDU が起動してから、正常に処理された各バッチ数を特定します。
ドロップしたバッチ	最後の RDU が起動してから、ドロップした各バッチ数を特定します。
失敗したバッチ	最後の RDU が起動してから、処理に失敗した各バッチ数を特定します。
平均処理時間 (Average Processing Time)	RDU がビジー状態の場合キューでの処理時間を除くバッチの処理かかる平均時間 (ミリ秒) を特定します。
平均バッチ処理時間	RDU がビジー状態の場合キューでの処理時間を含むバッチの処理かかる平均時間 (ミリ秒) を特定します。
ログ ファイル	
RDU ログ ファイル	[View Details (詳細の表示)] アイコン機能をクリックすると、 <i>rdu.log</i> ファイルの詳細を提供する [View Log File Contents (ログ ファイル コンテンツの表示)] を表示します。
監査ログ ファイル	[View Details (詳細の表示)] アイコン機能をクリックすると、 <i>audit.log</i> ファイルの詳細を提供する [View Log File Contents (ログ ファイル コンテンツの表示)] を表示します。
デバイスの統計情報	
(注) [Device Statistics (デバイスの統計情報)] セクションでは、適切なデバイスが存在する場合にのみ表示されます。	

フィールドまたはボタン	説明
	<p>RDU データベース内のデバイスの数を示します。この領域に表示される情報は、ライセンスを取得し設定されたテクノロジーによって異なります。これらのデバイスには次を含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DOCSIS モデム • コンピュータ • PacketCable • CableHome WAN データ/WAN-MAN デバイス • STB • eRouter • RPD
(注)	JAR ファイルをインストールする場合、デバイス統計セクションの後にインストールされている拡張 JAR ファイルとロードの拡張クラス ファイルに関する情報が表示されます。

プロビジョニンググループのモニタリング

プロビジョニンググループの管理ページ(サーバ>プロビジョニンググループ)では、すべての現在のプロビジョニンググループをモニタリングすることができます。このリストに表示される各プロビジョニンググループでは、独自の詳細ページへのリンクです。次の表の説明に従って、詳細を表示する詳細ページを表示するために、このリンクをクリックします。

表 2:[プロビジョニンググループの詳細]ページを表示します。

フィールドまたはボタン	説明
プロビジョニンググループの詳細	
名前	[プロビジョニンググループの管理] ページから選択されたプロビジョニンググループ名を特定します。
プライマリデバイスのプロビジョニングエンジン	このプロビジョニンググループのプライマリである DPE のホスト名を特定します。これは、クリックしたときに[デバイスプロビジョニングエンジンの詳細]ページを表示するアクティブなリンクです。

フィールドまたはボタン	説明
セカンダリ デバイスのプロビジョニングエンジン	このプロビジョニンググループのセカンダリである DPE のホスト名を特定します。これは、クリックしたときに[デバイスプロビジョニングエンジンの詳細] ページを表示するアクティブなリンクです。
Network Registrar 拡張ポイント	このプロビジョニングのグループに割り当てられている Network Registrar サーバのホスト名を特定します。これは、クリックすると、[Network Registrar の拡張ポイントの詳細の表示] ページが表示されるアクティブなリンクです。
デバイス数	このプロビジョニンググループに所属するデバイスの数を指定します。
リース クエリの管理	
LeaseQuery AutoConfig	<p>リースクエリアドレスの自動設定を有効または無効にします。この機能は、デフォルトで有効になっています。</p> <p>この機能を有効にすると、RDUはプロビジョニングのグループ内の Network Registrar サーバから IPv4 と IPv6 の両方のアドレスリストを設定するとリースクエリを設定を調整します。</p> <p>この機能を無効にすると、RDUでは、Network Registrar サーバに登録時にリースクエリ設定が変更されません。</p> <p>(注) この機能が無効になっている場合のみ、このセクションで後続のフィールドが表示されます。</p>
設定されている IP アドレス リスト (IPv4)	DHCPv4 リースクエリの要求の送信するために RDU が使用するよう設定されている Network Registrar 拡張機能の IPv4 アドレスのリストを表示します。
設定されている IP アドレス リスト (IPv6)	DHCPv6 リースクエリの要求の送信するために RDU が使用するよう設定されている Network Registrar 拡張機能の IPv6 アドレスのリストを表示します。

フィールドまたはボタン	説明
<p>機能管理</p> <p>これらのフィールドを使用して、プロビジョニンググループが備える機能を手動で有効化または無効にします。フィールドが無効になっている場合は、プロビジョニングのグループが、特定のデバイス タイプまたは機能をサポートできないことを意味します。デバイスの機能は、デバイス起動時に RDU で登録されています。 プロビジョニンググループ機能 を参照してください。</p> <p>このフィールドの値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有効 - サーバが有効になっており、使用するために設定されています。 • 無効 - サーバは機能をサポートしますが、使用のために設定されていません。 • 対応していない - サーバは、機能をサポートしていません。プライム ケーブル プロビジョニングにアップグレードして、機能のサポートを有効にする必要があります。 	
IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	IPv4 モードの背後にある DOCSIS 1.0 および 1.1 のモデムとコンピュータのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループで DPE の TFTPv4 を有効にし、DHCPv4 をサポートする Network Registrar DHCP サーバを有効にする必要があります。
IPv4 - DOCSIS 2.0	IPv4 モードですべての DOCSIS 1.0、1.1 のデバイス、および DOCSIS 2.0 モデムのサポートを有効または無効にします。
* IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0、3.1 モデム IPv4 モードおよびこれらのモデムの背後にあるセットトップボックスでのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、ことを確認します Cisco BAC 4.2 を実行、プロビジョニンググループまたは上のすべての Dpe。
PacketCable	IPv4 モードで PacketCable MTA のサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループで、すべての DPE と Network Registrars の PacketCable を有効にする必要があります。
IPv4 - CableHome	IPv4 モードでのホームのネットワーク デバイスのサポートを有効または無効にします。

フィールドまたはボタン	説明
* IPv4 - ERouter 1.0	IPv4 モードで eRouter デバイスのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループ内のすべての DPE と Network Registrar の eRouter を有効にする必要があります。
IPv4 - RPD	IPv4 モードで RPD デバイスのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループ内のすべての DPE と Network Registrar の RPD を有効にする必要があります。
IPv6 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0、3.1 モデム IPv6 モードおよびこれらのモデムの背後にあるセットトップボックスでのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループで DPE の TFTPv6 を有効にし、DHCPv6 をサポートする Network Registrar DHCP サーバを有効にする必要があります。
IPv6 - PacketCable 2.0	IPv6 モードで PacketCable のサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループで、すべての DPE と Network Registrars の PacketCable を有効にする必要があります。 IPv6 - DOCSIS 3.0 フィールド (IPv6 プロビジョニング) が有効になっている場合にのみ、PacketCable 2.0 のプロビジョニングを有効にすることができます。
IPv6 - ERouter 1.0	IPv6 モードで eRouter デバイスのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループ内のすべての DPE と Network Registrar の eRouter を有効にする必要があります。 DOCSIS 3.0 フィールド (IPv6 プロビジョニング) が有効になっている場合にのみ、eRouter 1.0 のプロビジョニングを有効にすることができます。

フィールドまたはボタン	説明
IPv6 - RPD	IPv6 モードで RPD デバイスのサポートを有効または無効にします。この機能をサポートするには、プロビジョニンググループ内のすべての DPE と Network Registrar の RPD を有効にする必要があります。
ダイナミック TFTP 圧縮	<p>このプロビジョニンググループの DPE に対してダイナミックの TFTP 圧縮を有効または無効にします。この機能を有効にする場合、DPE がキャッシュするダイナミック TFTP ファイルが圧縮され、結果として DPE パフォーマンスを向上させます。ネットワーク内のほとんどのデバイスが大きなファイルを使用する場合、ダイナミック TFTP 圧縮を有効にします。</p> <p>この機能を使用するためには、プロビジョニンググループのすべての DPE は少なくとも Cisco BAC 4.1 で実行されることを保証します。</p>
拡張 TFTP 設定ファイル名	<p>プロビジョニングこのグループ内の DPE の拡張 TFTP 設定ファイル名を有効または無効にします。この機能を有効にする場合、ダイナミック TFTP ファイル名には、ダイナミックコンテンツでラベルを付けることができます (たとえば、COS、ベンダー、発信/モデル、CPE など)。これは、ファイル名を定義するスクリプトを記述する柔軟性を与えます。ダイナミック TFTP ファイル名をカスタマイズする場合は、この機能を有効にします。</p> <p>この機能を使用するためには、プロビジョニンググループのすべての DPE は、少なくとも Cisco BAC 4.2 以上で実行されることを保証します。</p> <p>拡張 TFTP ファイル名の詳細については、動的 TFTP ファイル命名規則 を参照してください。</p>

フィールドまたはボタン	説明
拡張機能を使用したダイナミック TFTP 設定ファイル名	<p>プロビジョニンググループ内の DPE の拡張機能を使用して、ダイナミック TFTP 設定ファイル名を有効または無効にします。この機能を有効にすると、ダイナミック TFTP ファイル名には拡張機能により設定されたダイナミックコンテンツによりラベルを付けることができます。この機能を使用するためには、プロビジョニンググループのすべての DPE は、少なくともプライムケーブルプロビジョニング以上で実行されることを保証します。</p> <p>ダイナミック TFTP 設定 6.1.2 ファイル名の詳細については、「拡張機能を通じたダイナミック TFTP ファイル名の指定の 272 ページ」を参照してください。</p>
リモート SNMP リセット	DPE を通じたデバイス SNMP のリセットのサポートを有効または無効にします。この機能を使用するためには、プロビジョニンググループのすべての DPE は、少なくともプライムケーブルプロビジョニング以上を実行することを保証します。
リモートの SNMP リセットでの DPE の除外	リモート SNMP リセットが有効になっている場合は、デバイスの SNMP のリセットから除外されている DPE を特定します。
セキュリティ ドメイン	インスタンス レベルのアクセス制御が有効になっている場合は、プロビジョニンググループに割り当てられている RBAC ドメインを特定します。

DPE のモニタリング

デバイスのプロビジョニングエンジンの管理ページ ([サーバ] > [デバイスのプロビジョニングエンジン]) では、現在、プライム ケーブル プロビジョニングデータベースで登録されているすべての DPE のリストを監視できます。このページに表示される各 DPE 名は、その DPE の詳細を表示するもう 1 つのページへのリンクです。DPE リンクをクリックすると、内容が次の表で説明されている詳細に類似する詳細ページが表示されます。



- (注) RDU では、DPE が RDU に連絡する DPE インターフェイスで逆 DNS ルックアップを実行して、Network Registrar 拡張機能の名前と DPE を決めます。

表 3: デバイスのプロビジョニング エンジンの詳細ページの表示

フィールドまたはボタン	説明
デバイスのプロビジョニング エンジンの詳細	
ホスト名	DPE ホスト名を識別します。
ポート	DPE が、RDU への接続を確立する DPE ポート番号を識別します。
IP アドレス	DPE の IP アドレスを特定します。
Primary Provisioning Group(s)	選択した DPE が属しているプライマリプロビジョニンググループを示します。このアクティブなリンクをクリックすると、そのプロビジョニンググループのプロビジョニンググループの詳細ページが表示されます。
Secondary Provisioning Group(s)	選択した DPE が属するセカンダリプロビジョニンググループを特定します (この DPE がセカンダリプロビジョニンググループに属する場合)。これはアクティブリンクであり、クリックするとプロビジョニンググループのプロビジョニンググループの詳細ページを表示します。
プロパティ	DPE 用に設定されたプロパティを識別します。
バージョン	現在使用中の DPE ソフトウェアのバージョンを識別します。
UpTime	最後の起動以降、DPE が動作している合計の期間を指定します。

フィールドまたはボタン	説明
状態	<p>DPE が動作できるか特定します。これらの状態には次が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録中 • 初期化中 • 同期中 • レディー • オフライン <p>各状態の詳細は、DPE RDU 同期を参照してください。</p> <p>(注) このフィールドがオフラインを読み取る場合、それ以降の Uptime フィールドからの詳細は表示されません。DPE はオフラインを除くすべての状態でサービスの要求に対して準備されています。</p>
RDU とのセキュア通信	RDU とのセキュア通信が有効か無効かどうかを特定します。
セキュリティ ドメイン	インスタンス レベルのアクセス制御が有効になっている場合に、DPE に割り当てられている RBAC ドメインを識別します。
プロトコル サービス このセクションは、DPE の TFTP、ToD プロトコルのステータスを指定します。	
TFTPv4	TFTPv4 が DPE で有効または無効になっているかどうかを指定します。
TFTPv6	TFTPv6 が DPE で有効または無効になっているかどうかを指定します。
TODv4	ToDv4 が有効になっているまたはを搭載無効になっているかどうかを指定します。
TODv6	ToDv6 が有効になっているまたはを搭載無効になっているかどうかを指定します。

フィールドまたはボタン	説明
登録済みの機能	
このセクションでは、このプロビジョニンググループ内のすべての DPE が、RDU に登録されている機能を指定します。	
IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 1.0 と 1.1 のバージョンが IPv4 モードでは、この DPE で有効になっているかどうかを特定します。
IPv4 - DOCSIS 2.0	DOCSIS 2.0 バージョンが IPv4 モードでは、この DPE で有効になっているかどうかを特定します。
* IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0 および 3.1 バージョンは IPv4 モードで、この DPE で有効になっているかどうかを特定します。
PacketCable	IPv4 モードで、この DPE で PacketCable 音声テクノロジーが有効になっているかどうかを特定します。
* IPv4 - CableHome	この DPE IPv4 モードでのホームネットワークテクノロジーが有効になっているかどうかを特定します。
IPv4 - ERouter 1.0	IPv4 モードでは、この DPE で eRouter 1.0 が有効になっているかどうかを特定します。
IPv4 - RPD	この DPE IPv4 モードで、RPD が有効になっているかどうかを特定します。
IPv6 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0 および 3.1 バージョンは IPv6 モードで、この DPE で有効になっているかどうかを特定します。
IPv6 - PacketCable 2.0	IPv6 モードでは、この DPE で PacketCable 音声テクノロジーが有効になっているかどうかを特定します。PacketCable 2.0
IPv6 - ERouter 1.0	IPv6 モードでは、この DPE で eRouter 1.0 が有効になっているかどうかを特定します。
IPv6 - RPD	この DPE IPv6 モードで、RPD が有効になっているかどうかを特定します。

フィールドまたはボタン	説明
ダイナミック TFTP 圧縮	<p>この DPE にダイナミック TFTP 圧縮が有効になっているかどうかを特定します。この機能を有効にすることにより、DPE に保存されているダイナミック設定のサイズを圧縮することができます。ダイナミック TFTP 設定で使用されると、この機能は DPE キャッシュのサイズを大幅に削減します。</p> <p>(注) この機能をサーバ>プロビジョニンググループ() ページから有効にすることができますが、プロビジョニングのグループ内のすべての DPE がそれをサポートするときに限りです。詳細については、プロビジョニンググループ機能を参照してください。</p>
拡張 TFTP 設定ファイル名	<p>この DPE に拡張 TFTP 設定ファイル名が有効になっているかどうかを特定します。この機能を有効にする場合、ダイナミック TFTP ファイル名には、ダイナミック コンテンツでラベルを付けることができます(たとえば、COS、ベンダ製造元/モデル、CPE など)。</p>
拡張機能を使用したダイナミック TFTP 設定ファイル名	<p>この DPE にダイナミック TFTP 設定ファイル名を使用して拡張機能が有効になっているかどうかを特定します。この機能を有効にすると、ダイナミック TFTP ファイル名には拡張機能により設定されたダイナミックコンテンツによりラベルを付けることができます。</p>
Log File	
DPE ログ ファイル	<p>機能の詳細の表示アイコンの表示をクリックすると、[ログ ファイルの内容の表示] ページが表示され、<i>dpe.log</i> の詳細が提供されます。</p>
キャッシュ統計	
Hits (ヒット数)	<p>最後に、DPE が開始した時以降に発生したキャッシュのヒット数を示します。</p>
Misses (ミス数)	<p>最後に、DPE が開始した時以降に発生したキャッシュ ミスの数を示します。</p>

フィールドまたはボタン	説明
Lease Updates (リース更新数)	更新された IPv4 と IPv6 のリースの数を示します。
Files (ファイル数)	DPE に格納されているキャッシュ ファイルの数を示します。
Configurations (構成数)	キャッシュに保存されたデバイス構成ファイルの数を特定します。
TFTP 統計情報 v4	
Packets Received	選択した DPE で受信された TFTPv4 パケットの数を示します。
Packets Dropped	DPE のオーバーロードが原因で廃棄された TFTPv4 パケットの数を示します。
Packets Successful	正常に送信された TFTPv4 パケットの数を示します。
Packets Failed	伝送中に失敗した TFTPv4 パケットの数を示します。
TFTP の統計情報 v6	
Packets Received	選択した DPE で受信された TFTPv6 パケットの数を示します。
Packets Dropped	オーバーロード DPE が原因で廃棄された TFTPv6 パケットの数を示します。
Packets Successful	正常に送信された TFTPv6 パケットの数を示します。
Packets Failed	伝送中に失敗しました TFTPv6 パケットの数を示します。
日の統計情報の時間 v4	
Packets Received	選択した DPE で受信された時刻 v4 パケットの数を示します。
Packets Dropped	オーバーロードした DPE のために破棄された Time of Day v4 パケットの数を示します。
Packets Successful	正常に送信された Time of Day v4 パケットの数を示します。

フィールドまたはボタン	説明
Packets Failed	伝送中に失敗した Time of Day v4 パケットの数を示します。
Time of Day 統計情報 v6	
Packets Received	選択した DPE で受信された Time of Day v6 パケットの数を示します。
Packets Dropped	オーバーロードした DPE のために破棄された Time of Day v6 パケットの数を示します。
Packets Successful	正常に送信された Time of Day v6 パケットの数を示します。
Packets Failed	伝送中に失敗した Time of Day v6 パケットの数を示します。
パケット作成可能な統計情報	
SNMP Informs Successful	正常に送信された通知要求の数を示します。
SNMP Sets Successful	正常な SNMP セットの数を示します。
SNMP Configuration Informs Successful	正常にプロビジョニングされたことを示す PacketCable MTA から受け取った SNMP 通知の数を示します。
SNMP Configuration Informs Failed	プロビジョニングに失敗したことを示す PacketCable MTA から受け取った SNMP 通知の数を示します。
パケット作成可能な MTA 統計情報	
MTA AP Requests Received	MTA から DPE が受け取った AP-REQ メッセージの数を指定します。
MTA AP Responses Sent	MTA へ DPE から送信された AP-REP メッセージの数を指定します。
パケット作成可能な KDC 統計情報	
受信した KDC FQDN 要求	DPE に KDC で送信される FQDN REQ メッセージの数を指定します。
KDC FQDN Responses Sent	KDC に DPE で送信される FQDN-REP メッセージの数を指定します。
設定済みのネットワーク インターフェイス	

フィールドまたはボタン	説明
Provisioning Group Communication	DPE が属するプロビジョニンググループに関連する詳細を指定します。
IPv4 Provisioning	IPv4 プロビジョニング用に設定されている DPE インターフェイスの詳細を指定します。これらの詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 アドレス • ポート番号 • FQDN <p>(注) このセクションは、IPv4 プロビジョニングの DPE インターフェイスが設定されている場合にのみ表示されます。</p>
IPv6 Provisioning	IPv6 のプロビジョニング用に設定されている DPE インターフェイスの詳細を指定します。これらの詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • IPv6 アドレス • ポート番号 • FQDN <p>(注) このセクションは、IPv6 プロビジョニングの DPE インターフェイスが設定されている場合にのみ表示されます。</p>

CPNR 拡張ポイントのモニタリング

Manage Network Registrar Extension Points ページ ([Servers] > [Network Registrar DHCP]) は、RDU で登録されているすべての Network Registrar サーバの拡張ポイントを一覧にして、プライム ケーブル プロビジョニングで使用するために設定されます。これらのサーバが起動するとき、Network Registrar サーバは RDU で自動的に登録します。

このページに表示される各 Network Registrar 拡張ポイントは、その拡張ポイントの詳細を表示するセカンダリ ページへのリンクです。Network Registrar 拡張ポイント リンクをクリックして、次の表で説明されている詳細を表示する詳細ページを表示します。

表 4: [View Network Registrar Extension Point Details] ページ

フィールドまたはボタン	説明
Network Registrar 拡張ポイントの詳細	
ホスト名	Network Registrar を実行するシステムのホスト名が表示されます。
IP アドレス	Network Registrar サーバの IP アドレスを特定します。
プロビジョニング グループ	Network Registrar サーバのプロビジョニング グループを特定します。これはアクティブ リンクであり、クリックするとプロビジョニング グループの [Provisioning Group Details] ページを表示します。
プロパティ	Network Registrar サーバに適用されるプロパティを特定します。
バージョン	現在使用中の拡張ポイント ソフトウェアを特定します。
UpTime	最後の起動以降、Network Registrar 拡張ポイントが動作している合計時間を指定します。この時間は、時間、分、および秒で示されます。
状態	<p>DPE が動作できるか特定します。これらの状態には次が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録中 (Registering) • Initializing • 同期 • Ready • Offline <p>各状態の詳細については、『DPE-RDU Synchronization』を参照してください。</p> <p>(注) このフィールドがオフラインを読み取る場合、以降の [Uptime] フィールドからオプションは表示されません。DPE はオフライン以外の状態のサービスクライアント要求に対して準備されません。</p>

フィールドまたはボタン	説明
RDU とのセキュア通信	RDU とのセキュア通信が有効または無効か特定します。
セキュリティ ドメイン	インスタンス レベル アクセス制御が有効になっている場合、Network Registrar に割り当てられている RBAC ドメインを特定します。
プロトコル サービス	
DHCPv4	DHCPv4 を有効または無効になっているか特定します。
DHCPv6	DHCPv6 を有効または無効になっているか特定します。
登録済み機能	
* IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 1.0 および 1.1 バージョンが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
* IPv4 - DOCSIS 2.0	DOCSIS 2.0 バージョンが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
* IPv4 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0 および 3.1 バージョンが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
PacketCable	PacketCable 音声テクノロジーが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
* IPv4 - CableHome	ホーム ネットワーキング テクノロジーが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
* IPv4 - ERouter 1.0	eRouter 1.0 が、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。
IPv4 - RPD	RPD が、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv4 モードで有効になっているか特定します。

フィールドまたはボタン	説明
IPv6 - DOCSIS 1.0/1.1	DOCSIS 3.0 および 3.1 バージョンが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv6 モードで有効になっているか特定します。
IPv6 - PacketCable 2.0	PacketCable 音声テクノロジーが、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv6 モードで有効になっているか特定します。
IPv6 - ERouter 1.0	eRouter 1.0 が、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv6 モードで有効になっているか特定します。
IPv6 - RPD	RPD が、Network Registrar サーバに接続する DPE の IPv6 モードで有効になっているか特定します。
Network Registrar 拡張ポイント統計情報	
受信したパケット	受信した DHCPv4 パケットの数を特定します。
無視された DHCPv4 パケット	無視された DHCPv4 パケットの数を特定します。
ドロップした DHCPv4 パケット	ドロップした DHCPv4 パケットの数を特定します。
DHCPv4 パケットの成功	正常に転送された DHCPv4 パケットの数を特定します。
失敗した DHCPv4 パケット	転送に失敗した DHCPv4 パケットの数を特定します。
受信した DHCPv6 パケット	受信された DHCPv6 パケットの数を示します。
無視された DHCPv6 パケット	無視された DHCPv6 パケットの数を特定します。
ドロップした DHCPv6 パケット	ドロップした DHCPv6 パケットの数を特定します。
DHCPv6 パケットの成功	正常に転送された DHCPv6 パケットの数を特定します。
失敗した DHCPv6 パケット	転送に失敗した DHCPv6 パケットの数を特定します。

フィールドまたはボタン	説明
デバイス プロビジョニング エンジンの詳細	
(注) 各 DPE Network Registrar サーバに接続するために、次のフィールドが表示されます。	
DPE	DPE の IP アドレスを特定します。
ポート	DPE が RDU への接続を確立するポート番号を特定します。
タイプ	この DPE がプライマリまたはセカンダリ DPE であるか特定します。
Status (ステータス)	DPE が動作可能か特定します。

DPE CLI の使用

DPE サーバのステータスをモニタするには、**show dpe** コマンドを実行して、DPE が実行されているか確認し、プロセスの状態と実行されている場合はそのオペレーションの統計情報を表示します。



- (注) このコマンドでは DPE が正常に実行されているかは示しておらず、プロセス自体が現在実行されていることのみ示します。ただし、DPE を実行しているとき、DPE が正常に要求を処理しているかどうか判断するため、このコマンドを出力する統計情報を使用できます。

dpe 出力の表示

この結果は、DPE が実行されると発生します。

```
dpe# show dpe
BAC Agent is running
Process dpe is running
Version BAC 4.2 (SOL_CBAC4_0_L_000000000000).
Caching 1 device configs and 1 external files.
0 sessions succeed and 0 sessions failed.
0 file requests succeed and 0 file requests failed.
0 immediate proxy operations received: 0 succeed, and 0 failed.
Connection status is Ready.
Running for 4 hours 30 mins 16 secs.
```

この結果は、DPE が実行されていないときに発生します。

```
dpe_host# show dpe
BAC Agent is running
Process dpe is not running
```



(注) 詳細については、[Cisco プライム ケーブル プロビジョニング 6.1.2 リファレンス ガイド](#)を参照してください。
